

令和4年度 第1回 佐世保市図書館協議会 会議録

1. 日 時 令和4年11月17日(木) 午後4時～午後5時50分

2. 場 所 佐世保市立図書館 4階 A会議室

3. 出席者 ○佐世保市図書館協議会委員 (定数5名)(出席5名)

- ・学校教育関係者 末竹 実
- ・社会教育関係者 喜多 祥浩
- ・社会教育関係者 松永 美智子
- ・家庭教育関係者 松山 裕美香
- ・学識経験者 中島 金太郎

○事務局・説明者(出席3名)

- ・図書館長 中尾 香代子
- ・館長補佐兼図書第一係長 谷口 進太郎
- ・図書第二係長 内海 由佳

4. 会次第

(1) 開会

(2) 議題

- ①令和3年度事業報告について
- ②令和3年度決算状況について
- ③令和4年度の事業実施状況について
- ④その他

(3) 閉会

5. 議事(要点筆記)

(1) 開会

(2) 議題

①令和3年度事業報告について

《 説 明 》

～事務局から資料に基づき、令和3年度の事業報告を行った。～

【令和3年度概況】

令和3年度は、依然として新型コロナウイルスの厳しい感染状況が続くなか、感染レベルに応じたサービス縮小を行うとともに、8月24日から9月24日まで、日曜・祝日を除く開館時間を2時間短縮(18時まで)する時短営業を実施した。

また、令和4年4月からの中央公園のリニューアルオープンに合わせて、図書館第1駐車場と第2駐車場の有料化工事を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、おはなし会、英語イベント、雑誌のリサイクル市など事業の一部を中止せざるを得なかったが、「図書館まつり」や「夏休み図書館探検ツアー」の再開、「図書館活用講座」や外部講師を招いての講演会をオンラインで開催するなど、令和2年度と比較して事業実施数は増えた。また、令和3年10月から新たに電子図書館サービスを開始するなど、コロナ禍でも対応できるサービスにも取り組んでいる。

子どもの読書活動推進については、新型コロナウイルス感染症対策による大きな影響を受けたが、

「第三次佐世保市子ども読書プラン」に基づき、子どもたちが年齢に応じた本と触れ合うことによって、本の楽しさを発見し、身近に読書に親しめるよう、また、子どもたちが主体的に情報を選択し、自分の考えをまとめ、人に伝えることができるよう、ブックスタート、学校等支援、図書館を使った調べる学習コンクールなど、様々な取組みを行った。

年間利用者数については、前年度と比較して 1,301 人の減となったが、貸出者数（延数）と貸出冊数については、それぞれ 19,539 人、66,218 冊の増となっており、新型コロナウイルスが全国に拡大した令和 2 年度と比べ、持ち直しの兆しがみられた。

【主要事業】

・一般室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
ビブリオバトル (オンライン開催含む。)	5月22日(土) 図書館A会議室 9月23日(木祝) 視聴覚室 11月14日(日) アルカス佐世保 (交流スクエア)	Web 会議システム Zoom によるオンライン開催。 11月については、対面とオンラインのハイブリッドで実施。	8人 8人 30人
上映会	毎週水曜日(28回開催) 視聴覚室 毎週金曜日(28回開催) 視聴覚室	金曜日の上映会を再開。コロナのレベルに応じプログラム・座席数を変更しながら開催。	383人 平均14人 337人 平均12人
特別上映会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館活用講座	7月4日(日)	図書館 HP の検索のコツやコンテンツの紹介、自宅でも使える便利なデータベースやデジタル資料の紹介などを実施。	受講7人 見学4人
『太宰治の生家「斜陽館」から読む太宰作品』	10月30日(土) 視聴覚室	佐世保ねぶた祭り実行委員会主催。青森県五所川原市とオンラインで結び、会場を含めたハイブリッドで実施。	21人
国際交流員 韓国文化講座	11月21日(日) 視聴覚室	一般室での「多文化共生」の特別展示(11/15~21)の関連講座として、企画部国際政策課が主催した文化講座。	11人
一般室展示	通年	一般室内の3コーナーで、職員が持ち回りで所蔵図書をテーマごとに紹介した。	展示3コーナーで計30件
特別展示	通年	本市各課ほか、希望があったもの(テーマを設定してパンフレット等を準備)を、コーナーを設置して展示。	12件

・児童室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
おはなし会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
おたのしみ会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
ちいさい子向けおはなし会「とことここ」		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
赤ちゃん向けおはなし会「いないいないばあ」	毎週木曜日（26回開催） おはなしの部屋 児童室中央フロア	絵本の読み語りや手遊び、パネルシアターなどを行った。 佐世保市の新型コロナウイルス感染レベルに応じて人数制限や、場所を変更して行った。	439人 平均16人
ブックスタート	4ヶ月児健診日（42回実施） 中央・東部・宇久保健福祉センター 江迎・小佐々支所	4ヶ月児健診会場において、ブックスタートパック（絵本やおすすめ絵本リストなど）を渡し、図書館のご案内を行った。	1,509人 平均35人
第5回図書館を使った調べる学習コンクール	7月～9月 市内小学校・義務教育学校に通学する児童	コンクールを開催し、市内全小学校へポスター、チラシを作成・配布し募集を行った。	応募作品 33点
図書館を使った調べる学習講座	8月1日（日） 8月7日（土） 8月8日（日） オンライン開催	百科事典や図鑑の使い方、調べるテーマの決め方などについてオンライン講座を行った。	低学年10人 中学年6人 高学年3人
読書週間イベント「秋の読書ラリー」	10月27日（水）～11月26日（金） 児童室	本の貸出数に応じ、スタンプを押すスタンプカードを配付した。スタンプの数によりプレゼントを渡した。	456人
みつけて！クリスマス	12月18日（土） 12月19日（日） 児童室	初級編（小さい子向け）と上級編（小学生向け）の2種類のクイズを行った。	136人
読み語り講座「子どもと楽しむ絵本」	3月19日（土） オンライン開催	職員が講師となり、絵本の読み方、選び方などの講座を開催した。	13人
学校等支援	通年	授業支援のための資料貸出、ブックトーク等を行った。	582件

本の作り手に聞いてみよう!! 「一冊の本ができるまで」	8月21日(土) オンライン開催	福音館書店の田中健一さんを講師としてお招きし、絵本ができるまでの過程など、編集者の仕事内容等をご講演いただいた。	24人
本の作り手に聞いてみよう!! 『かんころもちと教会の島』ができあがるまで」	10月3日(日) オンライン開催	月刊たくさんのふしぎ『かんころもちと教会の島』の作者であるにしむらかえさんを講師としてお招きし、作品完成にいたるまでのお話や、地元の食文化や信仰などについてご講演いただいた。	20人
なぞ解きイベント「ひゃっか王からの挑戦状」	10月5日(火) ～11月28日(日)	株式会社ポプラ社の協力を得て、百科事典を使ったなぞ解きを2部構成で実施した。	194人
児童展示コーナー	通年	季節や行事に関連したものを集めた展示や、職員による企画展示を実施した。	

・郷土資料室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
夏休み郷土学習教室	7月31日(土) 福井洞窟 福井洞窟ミュージアム	児童をはじめとした参加者に対し、郷土史跡の現地解説を行った。	21人
児童・生徒の郷土研究発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
郷土研究所の公開発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
古文書解説初級・中級講座		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
市民ギャラリー展示会	通年中2階市民ギャラリー展示会コーナー	芸術文化活動などの発表の場として、絵画等の展示を行った。	12回実施
郷土展示コーナー	通年	毎月テーマを決めた展示を行い、資料等の紹介を行った。	12回実施

・移動図書館

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
はまゆう号巡回	通年 個人貸出 30 箇所 団体貸出 49 箇所	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら運行	巡回日数 201 日

・共通

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
第 5 回図書館まつり	5 月 3 日 (月祝) 5 月 4 日 (火祝) 5 月 5 日 (水祝)	・図書館まつりクイズ&スタンプラリー ・子ども向け上映会 ・図書館員おすすめ本・特別展示・写真展示 ・みつめて! SABON ちゃん	586 人 750 人 854 人
英語 de 図書館		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館 de L I V E		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
リサイクル市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
夏休み図書館探検ツアー	7 月 22 日 (木)	午前 10 名午後 10 名で小学校高学年を対象に館内の見学を行った。	20 人
少年科学館プラネタリウムイベント「本と星と宮沢賢治の世界」	6 月 19 日 (土) 少年科学館プラネタリウム「星きらり」	プラネタリウム投影イベントとしてアニメーション「わたしはだれでしょう?」と宮沢賢治のブックトークを行った。	30 人
電子図書館サービス開始	10 月 1 日 (土)	スマートフォンやパソコンで、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができるサービス。1 人 2 冊/2 週間。図書館の利用登録が必要。	コンテンツ数 8,681 (R4.3 月末) 貸出回数 1,088 (R4.3 月末)
図書館職員のおすすめ本の紹介 (階段展示)	通年	毎月 17 冊の本の紹介を階段室壁に展示した。	204 冊

・西九州させば広域都市圏事業

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
利用者登録・貸出	通年 (佐世保市・松浦市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・小値賀町)	佐世保市と連携市町相互間で利用者登録・貸出を行った。	有効登録者数 561 人。 のべ貸出者 2,883 人。 貸出冊数 10,928 冊。
配送サービス	毎月 2 回 (年 24 回実施) (佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・有田町)	地元図書館での本の返却サービスと連携市町相互間での相互貸借資料の配送サービスを行った。	1,083 冊 平均 45 冊 (内訳：貸出 198 冊。 返却 885 冊。)
図書館相互レベルアップ 【福音館書店山形昌也さん講演会】	11 月 1 日 (月) 佐々町地域交流センター (佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々町・波佐見町)	連携市町の図書館職員、利用者等を対象とした講演会、研修会等を実施するもの。 福音館書店の山形昌也さんを講師としてお招きし、「科学絵本って楽しい!『かがくのとも』の作り方」を講演テーマとし、それがどのようにしてつくられるのか、作品に込められた思いや届けたいもの、科学絵本の楽しみ方にいたるまで、作り手の立場からご講演いただいた。	55 人
図書館相互レベルアップ 【職員向け研修会】	3 月 14 日 (月) 視聴覚室 (オンライン研修)	大分県杵築市立図書館の檜原啓一 (ひばる けいいち) 館長を講師としてお招きし、「これからの図書館を支える人材とは」を講演テーマとして、コロナ禍やDXの推進により利用者を取りまく社会環境が急速に変化するなか、図書館や図書館職員に求められることなどについて、ご講演いただいた。	32 人

【事業評価】

昨年から引き続き感染レベル毎に新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じながら、図書館サービスの提供やイベントの開催を行った。

来館者は、3・4 階の利用制限や夜間開館を中止した期間があったため、約 1,300 人の減少となったが、貸出者数・貸出冊数ともに令和 2 年度より増加した。しかし、利用登録者数は 27,745 人と令和 2 年度より 4,886 人減少している。新たな利用者を増やすために、イベントや広報の方策を講じていく必要がある。

また、おはなし会やイベントは、コロナ禍でも安全に安心して参加して頂けるように内容や場所を工夫して開催し、多くの方に参加して頂き目的は達成できた。

しかし、講座においては、コロナ禍のためオンラインでの開催となり、オンラインの場合、著作権

の関係上使用できる資料が限られ会場開催と同様の内容で開催することが難しかったり、会場開催の場合と比べて参加者が少なかったりしたので、今後は、講座の内容により、オンライン開催とするか、感染防止対策をしっかりと行い会場開催とするかについて検討していく必要があると考えている。

また、10月から開始した電子図書館サービスは、3月末時点で8,681冊のコンテンツがあるが、閲覧件数は2,674件だったので、今後はコンテンツの充実を図り、魅力あるサービスとして多くの方に利用して頂けるよう広報等に力を入れていく必要がある。

施設管理においては、駐車場有料化に向けた工事と照明設備LED化改修工事を行った。駐車場が一部使用できないなど利用者にご不便をおかけしたが、順調に工事を終えることができた。建設から約30年が経過し施設の老朽化が進んでいるので、快適な読書環境を提供するために維持管理に気を配っていく必要がある。

今後もコロナ感染拡大防止対策を講じながら、市民の読書活動の拠点としてサービスの充実を図り、更なる利用者拡大に努めていく必要があると考えている。

《 質 疑 》

会長：ただいまの説明に対し質問、意見等があればお願いしたい。

委員：「図書館を使った調べる学習講座」について、オンライン講座となると、著作権の関係上使用できる資料が限られるとの説明があったが、これはどういうことか。

事務局：講座で使用する本をWeb上で配信することについて、著作権の関係で制限がかかり、出版社からの許諾がおりにくい状況だった。許諾がおりた資料だけで実施したため、会場開催と比べると難しい面があったということである。

委員：私から何点かおたずねする。前回の会議でもお伝えしたところであるが、電子図書館について、初期設定のパスワードが西暦の生年月日であることが、今のお知らせ内容ではわかりにくい。先に図書館ホームページに利用登録された方は、そのパスワードを入力してしまい、電子図書館のWebサイトに入れなかったという話を聞く。

私は、「親子ひろば」を運営しているが、ここにいらっしゃるお母さん達からは、電子図書館は、図書館に行かなくても、期限が来ると自動的に返却されるので使いやすいと評判が良いが、なかなか利用が広がらない。電子図書館のWebサイトに入る方法を、文字だけではなく、イラストや画像なども使って視覚的にもっとわかりやすくしたものを配付してもらえると、利用が広がるのではないか。

今は皆さんスマホをお持ちなので、チラシを印刷して配付せずとも、わかりやすいビジュアルのものを掲示していただければ、皆さんスマホのカメラで撮られると思う。

次に、先日、ブックスタート事業を見学させていただいたが、ボランティアさんが、ブックスタートパックを開いて説明するときに、横に置いてある除菌スプレーを使われなかった。新生児のお母さんたちで、気にされる方もいらっしゃると思う。

可能であれば、配付用とは別に、説明用のブックスタートパックを1セット用意して対応されてはいかがか。そうすれば、配付用のものを開いて触る必要もなくなる。

もう1点、何故、未だに「佐世保子ども劇場」のリーフレットだけが、ブックスタートパックのセットのなかに入っているのか。「佐世保子ども劇場」だけはここで紹介してもらえる。ブックスタート事業が始まった頃から知っているの、おたずねしたい。

事務局：いろいろとご意見をいただき有難い。電子図書館のパスワードの件は、利用者の方にわかりやすくなるよう検討したい。ブックスタートパックの配付の方法についても、ご意見いただいたように、With コロナの時代に合ったやり方にしていく必要があると考えるので、あわせて

検討させて頂きたい。また、「佐世保子ども劇場」のリーフレットの件についても、担当者と話をして検討させて頂きたい。

委員：私の知り合いは高齢者が多いが、電子図書館については、ハードルが高いようだ。また、「広報させぼ」に図書館のイベントがよく掲載されているので、ビブリオバトルを知っているかと聞いてみたら、ほとんどの人が知らなかった。「広報させぼ」にもう少し詳しい説明がされていれば、興味を持つ方がいるかもしれない。

コロナの感染レベルが高いときは長時間の利用ができなかったが、それでも図書館や近くの地区コミュニティセンターで本を借りているといった状況である。

事務局：電子図書館の利用者については、統計上、年代別で最も利用が多いのが40代、次が50代、その次が60代となっている。意外と、若い人達よりも、40代から60代の利用が多い。

小学校の児童に一人1台タブレットが配付されるようになったので、そこから電子図書館を利用できるようにした。夏休み期間や10月は、小学生の利用が一番多かった。本来のターゲット層でもある子ども達や若い人達に広がっていけばと考えている。ご意見いただいたように、紙の本に親しみのある高齢者も多いと思われるので、その辺りも考慮しながら、電子書籍のコンテンツを揃えていきたいと考えている。

ビブリオバトルについては、「広報させぼ」の紙面の制約上、文字数が限られてしまうので、いろんな場面で皆様にお伝えしていく必要があると考えている。

会長：他にないか。

委員：私からは2点お伺いしたい。1点目、電子図書館について、統計上、若い人の利用が少ないとのことであったが、今現在、若い人達を含めて、電子図書館の広報をどのようにされているのか。もう1点、「図書館を使った調べる学習コンクール」について、参加者も少なく応募作品も減少したとの説明があった。今年も実施されているが、どのようなかたちで推移しているのか、おたずねする。

事務局：電子図書館の広報については、図書館のホームページや館内にチラシを置いて行っているが、興味をもって見られる方が少なかったのかもしれない。また、今はサブスクなどのコンテンツやサービスで、コミック、雑誌、ライトノベルなどが読めるので、今まで図書館を利用したことがない方には届かないのかもしれない。

次に、「調べる学習コンクール」についてであるが、昨年度は、「調べる学習講座」をオンラインで開催したが、今年度は会場開催としたため、講座の参加者が倍以上となった。応募作品数についても、昨年度の倍以上の71作品となったため、講座の充実が参加者や応募作品数につながっていくのではないかと考えている。

委員：電子図書館については、うちの学生も知らないといった状況だったので、もう少し若い人達に届く広報が必要と考える。図書館のホームページに掲載しても、結局、そのホームページを検索することが必要となるので、若い人達のライフスタイルのなかで、見つけてもらいやすい仕掛けをしておいた方が、見てもらえるのかなと思っている。

事務局：いただいたご意見を参考にして、広報に力を入れていきたいと考えている。

会長：他にないか。

委員：電子図書館の件であるが、令和4年3月末でのコンテンツ数が8,681点、令和4年10月末が9,340点で、約700点増えている。コンテンツ数を増やすため、どれくらいの経費がかかるのか。

事務局：紙の本であれば、1冊あたり大体平均2,000円くらいでみているが、電子書籍の場合、1冊5,000円するものや、定価の5倍するものもある。また、コンテンツによって、使用期限付きのものや貸出回数で制限されているものもあり、購入すればずっと使えるわけではない。従っ

て、一定のコンテンツ数を保つために定期的に購入していく必要があり、その点においては、紙の本より経費がかかる。

委員：夏休みの宿題として児童に配付する「夏休みの友」という冊子があるが、一人1台タブレットが導入されて、いずれはデジタル化されることになる。電子書籍を利用すれば、学習の幅も広がり、充実していくと思うので、費用をおたずねした次第である。

事務局：導入した初年度については、コンテンツに充てる予算があまり確保できなかった。今年度からは、特に児童書にも力を入れて取り組んでいる。

また、現在、教育委員会の方で、図書館、少年科学館、島瀬美術センターなどの教育文化施設の Web サイトを集約するポータルサイトの構築をすすめている。構築できれば、図書館のバナー画像をクリックすると、直接、電子図書館の Web サイトに移動するようになるので、利用促進のためコンテンツの充実を図りたい。

委員：百科事典など、内容が更新されるものを買替えた場合の料金比較や、書庫スペースにも限りがあるので、資料を保存しておく場所も価値として見直すなどされれば、1冊5,000円でも高い買い物ではないといった説明につながり、予算もつきやすいのではないかと思う。

委員：他になれば私からおたずねする。事業報告をみると、いろいろな取組みについて本当に努力をされている。それでも参加者や利用者が少ないというのは、コロナの影響もあると思うが、先ほどから委員の皆様が言及されているように、広報力も関係あるのではないかと思う。資料にも広報活動の強化という記載があるが、具体的にはどういう取組みを指しているのか。

事務局：ホームページ、広報させば、館内の掲示物、チラシの配布などによるものである。委員の皆様からご意見いただいたように、こちらから発信する場を広げていく必要があると考えているが、今後は、どこにどのように発信すれば効果的なのかということについて、研究していく必要があると考えている。

単にチラシを作成すればよいというものではない。また、今の人たちはスマホで Web 上の情報にアクセスされているが、図書館のホームページでお知らせしても、結局、図書館に興味のある方しかご覧いただけていないといった状況もあるので、より良い方法について模索しているところである。

委員：対象を明確にして、例えば、高齢者向け、中高年向け、若い人向け、小学生向けというように年齢層で区分してやってみてはどうか。例えば、ホームページの代わりに、パンフレットを作成して、老人ホームや包括支援センターなどに設置する。あるいは、中高年向けとして、会社に図書館を PR してみる。就職活動のときに本を読んでおけば有利ということで、学生向けに PR してみる。全ての年齢層を対象にして、一括りで行うよりも効果的と考える。

事務局：本年度は、例えば、読み語り講座をするときに、保育園とかこども園などにお勤めの保育士さんなど、興味を持たれていると思われる方に案内を送付した。また、11月20日(日)には、「公園 de 読書」ということで、消防局と連携して、隣の中央公園に、消防車や救急車などと一緒に移動図書館「はまゆう号」も出張して、屋外での読書体験を提供するというイベントを実施することにしており、保育園や幼稚園に案内チラシを送付したところである。実際に、読み語り講座については参加者も多かったので、ご指摘いただいたとおり、ターゲット層を絞った広報に取り組んでいきたいと考えている。

委員：今の件で補足であるが、SNSの活用について、どうお考えか。

事務局：今はフェイスブックだけ取り組んでいる。議会の方からも SNS の利活用促進についてはご指摘いただいているので、ツイッターやインスタグラムなどにも取り組んでいきたいと考えているが、現状の職員の体制として、それに組み入れるだけの余力がなく、手が出せないでい

る。

委員：SNSと電子図書館をうまく紐づけられたら、若年層にも広がりやすいのではないかと考える。

委員：今、子育て中のお母さんたちは、皆さんインスタグラムであり、ラインも使っていない。職員の体制で余力がないのであれば、例えば、図書館のパートタイム職員のなかにインスタグラムに詳しい方がいれば、特命でお願いするといった、柔軟なやり方をとってもいいのではないかと思う。

また、企業の皆様が、会報誌などを関係団体に配付する際に、お願いして図書館からのお知らせについても同封するなど、工夫する余地はあるのではないかと考える。

委員：私も、もう少し民間の力を借りて、図書館と民間、そして市民とが一体となって、活字文化というものを浸透させる必要があると考えている。思考や想像を必要としないユーチューブや配信動画ばかり見ていると、思考力がどんどん落ちていき、やがて皆、同じような考え方をするようになるのではないかと危惧されるところである。読書は、読む人を空想させ、想像させる力を持っており、非常に大切なことだと考えているので、引き続き取り組んでいただきたい。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

②令和3年度決算状況について

《 説 明 》

～事務局から資料に基づき、令和3年度決算状況の説明を行った。～

- ・予算現額 215,845 千円に対し決算額 206,098 千円 不用額 9,747 千円
内訳としては次のとおり。

「施設管理」	予算現額	78,135 千円	決算額	71,213 千円	不用額	6,922 千円
「運営」	予算現額	97,042 千円	決算額	94,358 千円	不用額	2,684 千円
「図書館資料費」	予算現額	37,770 千円	決算額	37,756 千円	不用額	14 千円
「郷土研究」	予算現額	2,898 千円	決算額	2,771 千円	不用額	127 千円

《 質 疑 》

会長：ただいまの説明に対し質問、意見等があればお願いしたい。

委員：資料の運営経費関係のところ、書誌データ作成委託費という項目があるが、これはどのようなデータを作成しているのか。

事務局：本の検索、貸出、予約などに対応するため、1冊ごとに、著者名、出版年や本の内容の簡単な説明などを委託業者の専門スタッフがやっているものである。

委員：いわゆる市場に流通している書籍が対象であり、郷土資料室にある資料のように、県や市などが独自で発行している資料の書誌データではないという理解でよいか。

事務局：そのとおりである。

委員：LED改修の件であるが、今回未実施の閉架書庫部分は大丈夫か。移動棚ではない通常の書架が置いてあるスペースは、暗くないか。

事務局：閉架書庫の通路部分はLED化した。通路部分は点灯したままにしているので、特に問題はないと考えている。

会長：他にないか。

委員：私から2点おたずねしたい。1点目、先ほどの質疑とも関連するが、広報についての予算はこの費目から支出されているのか。2点目、施設管理のところ、不用額が6,922千円生じているが、その理由についておたずねしたい。

事務局：施設管理の不用額の主なものは、館内警備と駐車場整理業務の委託契約を実施する際の入札差金である。これは、本庁の契約課のルールに基づき設定された労務単価を用いて積算を行い、入札を行うのであるが、競争原理が働いた結果、最低制限価格ぎりぎりのところで落札されたため、差金が生じたものである。

委員：1点目の広報についてはいかがか。どの程度の金額が広報に充てられるのかということについて知りたい。

事務局：運営の印刷製本費あたりになるが、これは既存の冊子、リーフレットなどの作成経費に充てられるもので、それ以上の何かに充てられるものではない。イベントの開催案内チラシや掲示物などは、職員が自分で作成し、コピー機や印刷機で印刷している状況にある。

委員：デザイン料は職員の人件費から、印刷代は消耗品費から賄っているということか。

事務局：そういうことになる。

委員：外注はできないのか。

事務局：厳しい予算状況のなか、なかなか捻出することができないでいる。職員の方で、デザインを工夫しながら取り組んでいるところである。

委員：先ほども申し上げたが、漠然と行うのではなく、ターゲットをできるだけ絞って、きめ細やかに行って欲しい。例えば、小学校であれば、地区や学年を絞るといった感じで。それが積み重なっていけば、大きな力になるのではないかと思う。

委員：私から1点おたずねする。ある保護者の方から伺ったが、自分が目を離した隙に、子どもが本をちょっとだけ破ったので、そのことを正直にお話ししたら、弁償を求められたので驚いたとのことであった。図書館の弁償の手続きについて、おたずねしたい。

事務局：弁償の手続きについてであるが、窓口で申し出があれば、届出を提出していただき、図書館として判断したうえで、弁償の有無について回答することになる。弁償となった場合は、現金での支払いではなく、新しい本を購入していただくことになる。

本の破損の状態によって、図書館で補修ができる場合は、弁償ではなく口頭注意ということで対応している。

委員：最近、窓口の職員さんの返却時の本の状態確認が緩いような気がするが、いかがか。

事務局：返却された本は中身の確認をするが、全てを完全に確認できるわけではないので、中には見落としがあったり、ご指摘のとおり、以前ほど、きちんとできていないところがあるのかもしれない。

委員：返却処理をした後に破損を発見した場合、お伝えしにくいと思うので、できれば返却処理前に確認した方がいいのではないかと思う。

会長：他にないか。

委員：図書館運営事業全体で、約970万の不用額が生じている。学校も同じだが、予算は毎年、減額される傾向にある。来年度の予算要求について、今現在の手応えはどうか。また、図書館運営事業のなかに施設管理や運営、図書館資料費といった内訳があるが、それぞれ上限額が決まっているのか。

事務局：事業ごとの積み上げの結果であり、特に上限額が決まっているわけではない。ただし、市全体の予算のフレームの中で、通常枠や施設維持管理枠といった枠配分が設定されている。通常枠については、このところ毎年度10%の削減が求められており、予算要求の前提として、この枠配分の中で収めなければならないといったルールがある。来年度予算については、現在、財政課の査定を受けているところである。前年度決算の不用額に左右されるものではない。

委員：図書について、どのように選んでいるのか。誰かが意見を出したらそれに従うといったかたち

なのか。

事務局：各部屋の担当者が複数人で選書を行っている。資料収集方針に則り、社会情勢や利用者のニーズ、また、各書架の在架本とのバランスなどを考慮しながら、偏らないように選書している。

委員：他になければ最後に私からおたずねする。図書館全体の令和3年度の予算額が2億1,584万5千円とのことであるが、この金額について、いかがお考えか。

事務局：2億という大きい金額を使わせていただいている。特に図書館資料費について、令和3年度は約3,700万円となっているが、以前、施設改修に要する経費に配分された結果、資料費がもっと少ない時期もあったので、今の金額は必ず維持するよう、取り組んでいきたいと考えている。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

③令和4年度の事業実施状況について

《 説明 》

～事務局から資料に基づき、令和4年度の事業実施状況について報告を行った。～

★講座・イベント

年月	項目	状況等	コロナ関連
4月	・中央公園リニューアルオープン(図書館駐車場有料化開始4/1(金)～) ★特別上映会「音楽 de シネマ」開催	屋内遊び場「メリッタ Kid'sSASEBO」オープン。芝生広場、ステージ、飲食店、フードコート等整備。 図書館駐車場21台 最初の1時間無料。30分/100円。最大800円。駐輪場は無料。 4/29(金)10:30～12:10 開催。【場所】視聴覚室。上映作品『和楽器とアジア音楽の競演アンコールワットコンサート』。10人観覧。	感染レベル1 4/20(水)～ 感染レベル1 →感染レベル2-I
5月	★「第6回図書館まつり」開催 ★「第1回公園 de 読書」開催 ★「第6回オンラインビブリオバトル(通算23回目)」開催	5/3(火祝)～5/5(木祝)開催。一般室「オビがし」、児童室「おたのしみ福袋」、郷土資料室「佐世保の昔と今」展示、上映会「ダンボ」「怪盗グルーの月泥棒」、図書館クイズ&スタンプラリー等。来館者数(5/3 844人。5/4 750人。5/5 710人。) 5/4(水祝)11:00～15:00 開催。【場所】中央公園メリッタキッズ前広場。【内容】移動図書館「はまゆう号」の出張サービス。屋外での読書体験の提供。295人。139冊の利用。 5/28(土)14:30～15:30 開催。パトラー4名。オーディエンス3名。取材見学2名。	感染レベル2-I
6月	★「絵本の読み聞かせ講座」開催 ★「英語 de 友活(英語おはなし会)」開催	6/11(土)14:00～15:30 開催。【場所】視聴覚室(会場開催)。【講師】「長崎とらねこ文庫」廣瀬美由紀氏。【内容】絵本の読み方や選び方、おはなし会でのプログラム構成等。41人参加。 6/22(水)・6/24(金)10:30～11:00 開催。【場所】児童室フロア。【内容】米海軍基地内 E.J.	6/9(木)～ 感染レベル2-I →感染レベル1

	<p>★「図書館活用ミニ講座(オンライン編)」開催</p>	<p>キングハイスクールの生徒による絵本の読み語り。6/22:19人(大人11人。子ども8人。)6/24:37人(大人19人。子ども18人)参加。6/25(土)14:30～16:30開催。【内容】①図書館HP活用術②オンラインで学ぶ「佐世保」。講師(図書館職員(司書))2名。受講者5名。当日見学10名(視聴覚室)</p>	
7月	<p>★「(市制120周年プロジェクト)SASEBO未来デザイン会議」開催(第1回)</p> <p>★「調べる学習講座」開催(計5回)</p> <p>★「夏休み郷土学習教室」開催</p> <p>・渋谷区議会議員視察対応</p> <p>★「夏休み図書館探検ツアー」開催</p>	<p>7/9(土)13:30～17:30開催。【場所】視聴覚室。【内容】政策経営課主催。佐世保にゆかりのある若者(15歳(高校生)～39歳)を公募。コーディネーターの進行もと、会議形式により未来の佐世保を考え、提言書にして市へ提出。58名の応募があり、2班に分け、6回ずつ開催(計12回)。初回は、市長によるビデオメッセージ。メンバー自己紹介。意見交換。23名参加(一部オンライン参加あり。)</p> <p>【場所】視聴覚室。【内容】児童を対象として、百科事典、図鑑等の使い方から、テーマに沿った本を探して調べてまとめるまでをワークショップ形式で実施。講師は図書館職員(司書)。</p> <p>【低学年】 7/18(月祝)10:10～14:00 受講者数11人。 7/31(日)10:10～14:00 受講者数7人。</p> <p>【中学年】 7/24(日)10:10～14:30 受講者数9人。 7/30(土)10:10～14:30 受講者数8人。</p> <p>【高学年】 8/6(土)10:10～14:30 受講者数10人。</p> <p>7/23(土)9:00～12:40開催。【内容】中部地区コミュニティセンターで座学後、針尾送信所(針尾無線塔)等の史跡見学を実施。参加資格:小学4年生以上。31人参加。参加スタッフ:郷土研究所6名。図書館4名。文化財課3名(計13名)。</p> <p>7/27(水)10:00～11:00 図書館で英語イベント等の座学後、中央公園を視察。議員8名。随員2名。</p> <p>7/31(日)①10:30～12:00 ②14:30～16:00開催。【内容】小学校4年生～6年生を対象として、閉架書庫やブックポスト等のバックヤードや館長室など、普段入ることができない場所を図書館</p>	<p>7/8(金)～感染レベル1 →感染レベル2-I(佐世保市のみ)</p> <p>7/13(水)～感染レベル2-I(県内全域)</p> <p>7/19(火)～感染レベル2-I →感染レベル2-II(長崎市・佐世保市のみ)</p> <p>7/21(木)～感染レベル2-II(県内全域)</p> <p>※特別警戒警報発令中</p>

		長が案内するもの。14人参加。	
8月	<p>★「(市制 120 周年プロジェクト)SASEBO未来デザイン会議」開催</p> <p>★「異文化サロン」開催(第1回)</p>	<p>8/20(土)13:30～18:00 開催。【場所】視聴覚室。【内容】2回目は「やってみたいこと、実現したいこと」の発表と質疑応答。20名参加(一部オンライン参加あり)。</p> <p>図書館以外の会場(庁議室、新みなとターミナル、アルカスSASEBO等)でも開催し、12月に終了予定。最終回は市議会の議場で開催予定。</p> <p>8/21(日)14:00～15:30 開催。【場所】視聴覚室。【内容】文化国際課主催。国際交流員(中国・韓国)が自国の文化を紹介。8月～12月の各月1回の計5回開催予定。20人参加。</p>	<p>感染レベル2-II</p> <p>※英語イベントのコミュニケーション・イン・イングリッシュはコロナのため開催延期。(令和5年1月開催で調整中)</p>
9月	<p>・司書実習生受入れ</p> <p>★「(市制 120 周年プロジェクト)SASEBO未来デザイン会議」開催</p> <p>・職場体験学習受入れ</p> <p>★「異文化サロン」開催(第2回)</p> <p>・台風14号による臨時休館</p> <p>★特別上映会「英語 de シネマ」開催</p> <p>・中央公園の「メリッタ Kid'sSASEBO」との連携事業開始(児童図書の貸出し)</p>	<p>9/1(木)～9/11(日) 九州大谷短期大学 2年生 1名。一般、児童、郷土、移動図書館の各業務を体験。</p> <p>9/3(土)13:30～16:30 開催。【場所】視聴覚室。【内容】図書館開催3回目(図書館では最終回)。3回目は参加者各自の提案の発表と議論。6グループに分けそのうちの1グループが出席。8名参加(オンライン参加1名)。</p> <p>9/13(火)～9/15(木) 光海中学校 2年生 1名。</p> <p>9/17(土)10:30～12:00 開催。【場所】視聴覚室。【内容】文化国際課主催。国際交流員(中国・韓国)が自国の文化を紹介。16人参加。</p> <p>9/18(日)13:00～9/19(月祝)終日。9/20(火)は休館日のため9/21(水)から通常開館。</p> <p>9/23(金祝)10:30～11:05 開催。【場所】視聴覚室。上映作品『はらぺこあおむし』。14人観覧。</p> <p>9/27(火)児童図書の貸出を実施。利用者が施設内で読んだり、同施設スタッフが読み聞かせを行う。移動図書館「はまゆう号」で運搬。本棚はメリッタが用意。</p>	<p>感染レベル2-II</p> <p>※ 9/19(月祝)開催予定の「第7回オンラインビブリオバトル(通算24回目)」は台風14号による臨時休館のため中止。</p> <p>9/29(木)～</p> <p>感染レベル2-II</p> <p>→感染レベル2-I</p>
10月	<p>・市制施行 120 周年記念イベント「SASEBO JAM FESTIVAL」開催</p> <p>・図書館の外部改修工事開始</p>	<p>10/1(土)・10/2(日) 中央公園にて開催。「音と光と食でコロナ禍の佐世保を盛り上げよう」をコンセプトに、花火、スカイランタン、音楽ライブ、S-1グランプリ等を開催。</p> <p>【期間】10/4(火)～1/19(木)終了予定</p> <p>【内容】・外壁タイル改修工事(階段室・EV室)</p> <p>・屋根防水シート改修工事(児童室・塔屋)</p>	<p>感染レベル2-I</p>

	<p>★雑誌のリサイクル市</p> <p>★「異文化サロン」開催(第3回)</p> <p>・第6回「図書館を使った調べる学習コンクール」2次審査会</p> <p>・職場体験学習受入れ</p> <p>★「読書週間イベント新井悦子氏」講演会</p> <p>★「読書週間イベント『よんでビンゴ!』」開催</p>	<p>①10/6(木)14:30～16:50②10/8(土)10:30～12:50</p> <p>【場所】視聴覚室【内容】コロナのため延期していた令和2年度分を実施。事前申込制(総応募件数84件)。</p> <p>各日100名(20名×5グループ)。1人10冊まで(同タイトルは5冊まで)。10/6(木)65タイトル、10/8(土)67タイトル。余った雑誌については、10/9(日)に視聴覚室で配布のうえ中2階のリサイクルコーナーへ。</p> <p>10/15(土)10:30～12:00 開催。【場所】視聴覚室。【内容】文化国際課主催。国際交流員(中国・韓国)が自国の文化を紹介。18人参加。</p> <p>10/25(火)13:30～16:30 開催【内容】1次審査を通過した作品について、低学年・中学年・高学年の部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞3点の受賞作品と全国コンクールへの推薦作品を選定する。審査員4名(小学校校長会1名、郷土研究所1名、学校教育課1名、図書館長)。</p> <p>10/25(火)～10/27(木) 愛宕中学校 2年生1名。</p> <p>10/30(日)14:00～15:30 開催。【場所】視聴覚室。【内容】絵本『きらきらさがし』を中心に、作品が生まれたプロセスやエピソードなどを講演。</p> <p>10/27(木)～11/13(日)児童室開催。【内容】幼児向けと小学生向けのビンゴカードを準備し、該当のマスに書いてある本を借りるとカウンターでスタンプを押し、ビンゴが成立するとプレゼント配付。</p>	<p>10/7(金)～感染レベル2-I →感染レベル1</p> <p>※10/21(金)～10/23(日)「第24回YOSAKOIさせば祭り」開催。</p>
11月	<p>★「うちどく講演会」開催</p> <p>★第6回「図書館を使った調べる学習コンクール」表彰式</p> <p>★「ビブリオバトル2022inSA SEBO」開催</p>	<p>11/5(土)10:30～12:00 開催。【場所】視聴覚室。【内容】社会教育課主催。講師は岩崎秀雄氏。</p> <p>11/12(土)13:00～13:30 開催。【場所】視聴覚室。【内容】低学年・中学年・高学年の最優秀賞受賞の児童(各1名)を表彰。保護者も出席。教育長から表彰と作品の講評。</p> <p>11/13(日)14:30～15:30 開催。【場所】長崎国際大キャンパス。【内容】長崎国際大学図書館との共催。各団体(佐世保北高、佐世保北</p>	<p>感染レベル1</p> <p>感染レベル1</p>

	<p>★「西九州させぼ広域都市圏主催～喜多あおいさん講演会～」開催</p> <p>★「ポプラディア活用講座」開催</p> <p>★「児童・生徒の郷土研究発表会」開催</p> <p>★「異文化サロン」開催(第4回)</p> <p>★「第2回公園 de 読書」開催</p> <p>★特別上映会「字幕 de シネマ」開催</p>	<p>中、させぼの読書会、長崎国際大学図書館、佐世保市立図書館)から推薦されたバトラーによるビブリアバトル。観覧は、会場とオンラインの両方あり。</p> <p>11/13(日)14:00～15:30 開催。【場所】松浦市生涯学習センターホール2F【内容】テレビ番組リサーチャーの喜多あおいさんを講師としてお招きし、「調べる」コツやスキル、楽しさ、醍醐味まで講演いただく。定員50名。</p> <p>11/14(月)10:30～12:00 開催。【場所】視聴覚室。【内容】ポプラ社から講師をお招きして、ポプラディアの改訂ポイントや百科事典で調べる楽しさを伝える方法などを講演。</p> <p>11/19(土)14:00～16:00 開催。【場所】視聴覚室。【内容】市内の児童・生徒が自分で調べた佐世保の歴史や地理などについて発表する。</p> <p>11/20(日)14:00～15:30 開催。【場所】視聴覚室。【内容】文化国際課主催。国際交流員(中国・韓国)が自国の文化を紹介。</p> <p>11/20(日)11:00～15:00 開催。【場所】中央公園。【内容】「秋の全国火災予防運動」の一環として、消防局と連携し、消防車両も出動。はたらく自動車として移動図書館も出張し、火災予防の啓発とともに、屋外での読書体験を提供する。※雨天時は11/23(水祝)に順延。</p> <p>11/23(水祝)10:30～11:25 開催。【場所】視聴覚室。上映作品『手話で楽しむ絵本』。</p>	
12月	<p>★「がん情報ギフト巡回展示『がんを身近に考える展』」開催</p> <p>★「異文化サロン」開催(第5回)</p> <p>★「がん情報ギフト巡回展示関連企画」開催</p>	<p>12/6(火)～12/23(金)開催予定。【場所】図書館2Fロビー～一般室入口付近。【内容】国立がん研究センターがん対策研究所による巡回展。</p> <p>12/17(土)午前中開催予定。【場所】視聴覚室。【内容】文化国際課主催。国際交流員(中国・韓国)が自国の文化を紹介。</p> <p>12/18(日)14:00～開催予定。親子でがんについて考える企画。ワークショップ形式。</p>	
1月	<p>★「ブックスタート20周年記念講座『赤ちゃんとおぼん』」開催。</p>	<p>1/22(日)14:00～15:30 開催予定。【場所】視聴覚室。【内容】絵本コンシェルジュ講師 草野三保子氏を講師としてお招きし、ブックスタートボランティアの研修も兼ねて開催。</p>	

《 質 疑 》

会長：ただいまの説明に対し質問・意見等があればお願いしたい。

委員：中央公園がリニューアルされて、図書館駐車場が有料化されたが、利用者への影響はあったか。

事務局：「広報させば」や有料化をお知らせする貼り紙を駐車場に掲示するなどして、事前周知に努めた。また、有料化工事も令和3年の6月中に終わり、令和4年4月の供用開始まで半年以上あり、その間、稼働前の駐車場のフラップ板などを見て知っている状況にあったためか、有料化に対する苦情はそれほど多くはなかった。また、隣のメリッタキッズの帰りに図書館に寄られる方や、メリッタキッズの予約時間まで図書館で過ごされる方もいらっしやって、昨年度と比較して、来館者数は増加している。

また、1時間無料となっているので、いつも来られている方達も1時間以内で帰るといった感じで、駐車場の回転についても、意外と良いといった状況である。

委員：私から2点おたずねする。まず1点、7月に開催された「夏休み図書館探検ツアー」について、参加者が令和3年度の20名から14名と減っているが、何か理由があるのか。2点目、11月に開催された「ポブラディア活用講座」は月曜日に開催されているが、対象はどういった方達だったのか、おたずねする。

事務局：「夏休み図書館探検ツアー」については、昨年度同様、20名で募集をし、20名の応募があったが、コロナの感染状況がひどくなり、直前の7月21日（木）から感染レベルが2-Iから2-IIに上がり、特別警戒警報が発令されたこともあり、キャンセルが続き、参加人数の減となったものである。

「ポブラディア活用講座」の対象については、図書館職員、学校司書、教員までとしており、一般の方を対象としていなかったため、図書館職員が参加しやすいよう、図書館の休館日である月曜日に開催させていただいた次第である。

委員：「公園 de 読書」という企画は、大変面白いと思う。ただし、夏場などは開催が難しいだろうし、天気や気候に左右されるといった点もあるが、隣の中央公園も整備されたので、継続して実施していただきたい。

事務局：5月に実施したときは、天気も大変良く、大型絵本を芝生の上で広げて親子で楽しんでいただくなど、成功裡に終えることができた。ただし、日陰が少なく、本を読むときに日差しがきついといった声もいただいた。

11月20日（日）に2回目を実施するが、天気が崩れるかもしれないと心配している。読書なので、雨だと実施することができない。中央公園と連携したイベントとして、今年度2回やってみて、皆様の反響をみてみたい。図書館の場所を知らない人もいたりするので、アピールする良い機会だと考えている。

委員：他になければ最後に私から。限られた人数の中で、よく努力されていると思う。ただし、せっかく開催するイベントに参加者が少なかったりすると、職員のモチベーションも向上していかない。市民や企業も巻き込んで、図書館はこれだけのことをやっているというような雰囲気づくりを行い、活気ある図書館づくりに取り組んでいただきたい。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

④その他

イ) 報告事項

「コミュニティセンターと連携した図書館サービスの拡大について」

《 説 明 》

～事務局から当日配付資料に基づき、報告を行った。～

(要旨)『3C羅針盤 2022』において、市長から、コミュニティセンター等における本の貸出の対応拡大について検討指示があった。教育委員会として検討を行った結果、速攻の対応策として、現在行っている7地区コミュニティセンター(江迎・鹿町・小佐々・吉井・大野・宮・針尾)での本の取寄せ・返却等のサービスを、全地区コミュニティセンターに拡大することとした。来年度からの実施に向けて、現在、市民生活部のコミュニティ・協働推進課と調整中である。

《 質 疑 》

会長：ただいまの報告に対し質問・意見等があればお願いしたい。

委員：サービスの内容について、もっと利便性を上げる予定はあるのか。

事務局：今後の利用状況をみながら考えていく必要があると思う。

委員：学校司書のように掛け持ちでもいいので、将来的には、司書がいるコミュニティセンターの窓口であって欲しい。私が以前勤めていたところでは、駅の中に返却窓口があり、そこには司書がいて、返却された本の貸出なども行っていた。

今のコミュニティセンターの図書室、図書コーナーは少し寂しい気がするので、図書館の力を注いで、活気のある場所になってくれたらいいのにと思う。

委員：私は、鹿町と吉井、宮の地区コミュニティセンターに行くことが多いが、鹿町に行くときは、土曜日が多い。土曜・日曜でも本を借りる方はいらっしゃるが、休日なので職員がいない。休日とは言え、本の管理などもあるだろうから、今後サービスを拡大するうえで、人員体制についても意を用いて欲しい。

事務局：現在、コミュニティセンターの図書室、図書コーナーは、市民生活部が所管しており、予算、人員配置等についても市民生活部で行っている。

委員：市民の方はわからないと思う。一括りで図書館の所管だと思わないか。

委員：もっと掘り下げたかたちでの連携を検討されてもいいのではないか。

委員：図書館で市民ボランティアを募集される機会があれば、そういった方達にお願いする方法もある。

委員：実施するのであれば、予算もきちんとつけていただきたい。

事務局：『3C羅針盤 2022』については、財政課も最重要課題として考えてくれている。今後の実績をみながら、必要な予算措置を行っていきたいと考えている。

会長：他になければこれで質疑をとどめる。

ロ) 次回開催について

令和5年2月下旬から3月中旬までの間を予定。日程については事務局で連絡調整する。

(3) 閉会

以 上